



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 オーベクス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 栗原 則義
 (コード番号 3583 東証 第二部)
 問合せ先 執行役員管理部長 塚越 孝弘
 (TEL : 03-6701-3200)

平成 30 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び

通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。合わせて、平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の通期業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,680	256	245	172	62 円 40 銭
今回実績 (B)	2,509	118	111	73	26 円 67 銭
増減額 (B-A)	△170	△137	△133	△98	—
増減率 (%)	△6.4	△53.8	△54.5	△57.2	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	2,629	345	284	193	70 円 23 銭

(注)当社は、平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

2. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の個別業績予想と実績との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,670	197	138	50 円 07 銭
今回実績 (B)	2,482	108	71	25 円 77 銭
増減額 (B-A)	△187	△88	△66	—
増減率 (%)	△7.0	△45.0	△48.5	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	2,632	242	166	60 円 48 銭

(注)当社は、平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり四半期純利益につきましては、前会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

3. 平成30年3月期通期の連結業績予想の修正

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,360	570	544	381	138 円 23 銭
今回修正予想 (B)	5,208	333	319	225	81 円 63 銭
増減額 (B-A)	△152	△237	△225	△156	—
増減率 (%)	△2.8	△41.6	△41.4	△40.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	5,056	498	451	307	111 円 78 銭

(注)当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり当期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

4. 平成30年3月期通期の個別業績予想の修正

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,340	438	306	111 円 02 銭
今回修正予想 (B)	5,188	282	195	70 円 75 銭
増減額 (B-A)	△152	△156	△111	—
増減率 (%)	△2.8	△35.6	△36.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	5,061	387	268	97 円 62 銭

(注)当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり当期純利益につきましては、前会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

5. 第2四半期累計期間の差異及び通期業績予想修正の理由(連結・個別)

第2四半期累計期間の業績につきましては、テクノ製品事業において利益率の高い製品売上が伸び悩み、また設備投資による減価償却費などのコストも増加した結果、売上高および各利益は当初予想を下回りました。

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績および今後の見通しを踏まえ、予想を修正いたします。

(注)上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上